

## エコスタディ 「エコ・タイムマシーン」

プログラムのねらい

地域の昔の様子を調べ、今の様子と比べて、生活の違いや、これからのまちづくりについて考える。

対象学年：小学校4年生

関連教科：社会「昔と今のまちづくり」

プログラムの概要：環境を視点に加え、昔と今のまちづくりを比較します。

## 社会に関連させたプログラムの活用例と発展例

社会  
学  
習

昔と今のまちづくり  
【学習活動】 町の歴史について調べ、これからのまちづくりについて考える。

まちの歴史を調べよう  
【学習活動】  
自分たちの町の歴史や出来事について調べる。

まちを見てみよう  
【学習活動】  
町探検をして、様々な側面から今の町の様子を見てみる。

わたしたちにできること  
【学習活動】  
これからの町づくりについて、自分たちにもできることを考える。

エコスタディ  
「エコ・タイムマシーン」  
【学習活動】  
今の町の様子で、残したいものや変えたいものを考える。

発展例  
こんなまちを作りたい！  
【学習活動】  
各班で作りたいまちの姿を決め、想像図を模造紙に描いて発表する。

## プログラムの準備

### 概要

地域の古地図や昔の写真から、自分たちの町の昔の様子を想像させ、同じ場所に行って現在の様子と比較します。その中で、昔と現在との生活や環境の違いを実感させると同時に、これからの町づくりについて考えます。

### 準備

#### 1. 地域の昔の地図や写真

大正時代や昭和初期の、地域の地図や写真を用意します(地図は活動エリアの範囲で、できる限り縮尺が大きいもの)。

昔の地図や写真は、郷土資料館、図書館、自治体、自治体HP等でさがしてみましょ。

活動では写真や地図と同じ場所に行って、今の町の様子と比べます。写真や地図は、子どもたちが昔の様子を知る重要な手がかりになりますので、下記のように準備します。

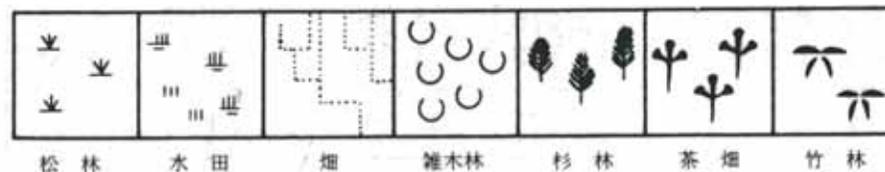
(写真の場合)

コピーやスキャニングをしてA4サイズ程度に拡大し、班(または各自)数分、用意します。

(地図の場合)

写真よりも昔の様子がイメージしにくいので、色塗りをさせイメージをしやすくしましょう。

- ・ 地図に描かれている印について説明し、色の塗り分けをさせる。  
(例)畑や田は緑色、家は桃色など。



#### 2. 色鉛筆(各自)

地図を使う場合に使用します。

#### 3. タイムマシーン・シート(記録シート)

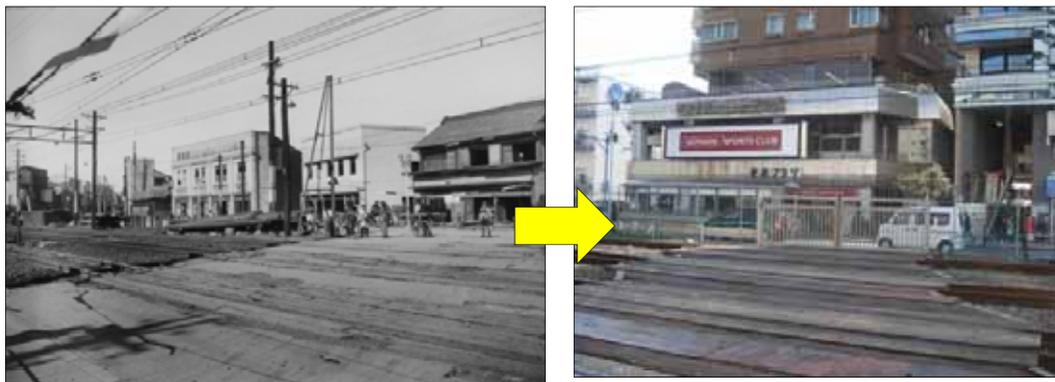
P4を使用しても結構ですが、P5を使って比較する項目をアレンジして作ってみましょう。

## プログラムの準備

### 4. 比較場所の設定

昔と現在の、比較をする場所を決めます。以下の条件にあてはまる場所をさがしましょう。

- ・昔の様子が分かる写真がある場所。  
写真がない場合は、地図で代用。
- ・駅や大通り、橋や踏切など、子どもたちに分かりやすいランドマークがある場所。



踏み切り: 昭和19年(左)と現在(右)の比較

### 5. サポーターの依頼

校外活動となりますので、安全のために保護者や他の先生の応援をお願いしておきましょう。



駅前: 大正12年(左)と現在(右)の比較


**タイムマシーン・シート**

**〔場所〕**

 チェック欄：あてはまるほうに  をつけよう

			昔	いま	気がついたこと
環 境	エネルギー	使っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		使っていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	自然	多い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		少ない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	ごみ	多い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		少ない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
く ら し	お店	多い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		少ない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	道	歩きやすい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		歩きにくい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	安全	安全	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		危険	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	



〔場所〕

			昔	いま	気がついたこと

# プログラムの進め方

## 進め方の手順

### [準備]

以下の用意をします。

- ・写真(または地図)
- ・タイムマシーン・シート

### 1. 導入

写真や地図を手がかりに、昔と今の町の様子を比べるという、きょうの活動の説明をします。用意した写真(地図)の時代背景について説明します。

地図の場合は、色の塗り分けをさせます。

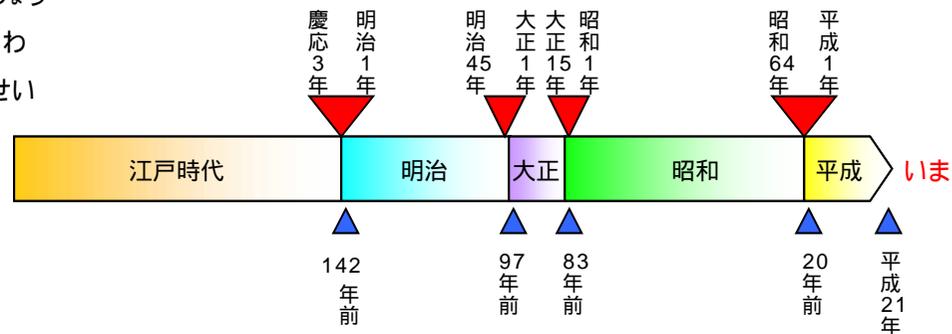


明治 = めいじ  
 大正 = たいしょう  
 昭和 = しょうわ  
 平成 = へいせい

## 支援の言葉 (参考)

1. みなさんは、「タイムマシーン」というのを、知っていますか？映画やマンガに出てくる、いろいろな時代に自由に行くことのできる機械です。まちの歴史や昔の様子を調べる時に、こんな機械があるといいですね。でも、そのような機械はまだ発明されていませんので、今回はこの写真(または地図)を使って、タイムマシーンに乗った気分になってみたいと思います。

この写真(地図)は、        年前の、まだみなさんのおじいちゃんやおばあちゃんが、子どもの時だった頃の町の写真(地図)です。これから、この写真(地図)と同じ場所に行って、昔の町の様子と、今の町の様子を比べてみましょう。





## 2. 町の様子と比較

昔の写真(地図)と今の様子を比べて、どこが違うかをタイムマシン・シートの項目にそって発見させます。また、その違いや気がついたことを記録させます。

(例) p3シート記入例

・エネルギー

昔 / 使っていない

今 / 使っている

…ビル

(エレベーター、自動ドアがいつも電気を使っているから)

暮らしやすさの視点から比べる場合は、自分だけではなく、お年寄りや車イス、自転車など、さまざま立場にたって考えるように指導しましょう。

### まとめ

昔との比較は景観の違いだけではなく、町の歴史の変遷や生活様式の変化、技術の発達などと結びつけて考えさせましょう。

また、昔と比べて、今の町の良いところ、変えていきたいところなどを整理にすることで、町や環境についての理解がより深まります。



2. 昔の写真(地図)と比べて、今の町の様子はどうか？タイムマシン・シートの、昔と今を比べるチェック欄に をつけ、「気がついたこと」の欄にその理由を書いておきましょう。

### まとめ

昔の町と今の町で、どのような違いを見つけられましたか？ タイムマシン・シートの がついているところを見てみると、環境という視点では今の町は高いビルがあってエレベーターが必要になったり、自動ドアやたくさんの電灯があったりして、昔の町に比べるとエネルギーをたくさん使うようになりました。また、お店や人が多くなったぶん、ごみも増えていますね。

反対に、暮らしやすさからすると、道がきれいになって、お年寄りや車椅子の人も通りやすくなっていますし、お店がたくさんあって便利になりました。

昔の町と比べて、良くなったことも悪くなったこともあるのかもしれないね。みなさんは、どう感じましたか？

## 関連する情報

町の姿は、その時代の生活様式や技術の変遷、社会の風潮によって変わってきます。まさに、時代を写す鏡と言えるかもしれません。もちろん、便利で快適な生活を営める町が求められるわけですが、現在は環境に対する様々な配慮もされています。環境という観点から、町を見てみましょう。

### 緑の活用

昔の町の写真や地図と、今の町の様子を見比べてみて、最も違うのは緑や土の面積が非常に少なくなったことです。土地の有効使用が優先され、一時、町の中の緑と土は極端に少なくなりました。しかし、現在は環境保全の点から、緑と土の効果が見直されています。

都市部では、コンクリート建築やアスファルト路面による蓄熱や照り返しによるヒートアイランド現象（周囲に比べて、都市部の温度だけ島状に暑くなる現象）の抑制や省エネルギーのために、屋上や大型の建築物の周辺で緑化がすすめられています。校庭の芝生化や、緑のカーテンの推進などもその取り組みのひとつです。

### 省エネルギー

昔の町に比べると、今の町は、たくさんのエネルギーを使っています。それだけに、少しでもエネルギーの消費を減らそうという取り組みもあります。

太陽光発電や風力発電などの、自然エネルギーの使用もそうですし、エネルギー消費量の少ないLED型の信号機も増えてきました。

子どもたちと一緒に、さがしてみましょ。



### 川の様子

治水や安全性の点から、一時は三面コンクリート張りや暗きょで水路化された川も、現在では親水性、景観、自然の回復などが配慮されるようになり、また様子を変えつつあります。



昭和29年

現在

## プログラムの発展「こんなまちを、つくりたい！」

今回のエコスタディの活動では、子どもたちが比較できる場所に行って、昔の町の様子と今の町の様子を比べ、今の町の良いところや変えたいところも考えるようになっています。しかし、それだけでは情報不足ですので、お年寄りに昔の町の様子を聞いてみましょう。

また、発展としてそれらからの活動から得た知識を元

に、班ごとにこれからどのような町を作りたいかを考えさせ、模造紙に描いて発表する学習をしてみましょう。

そのためには、自分になにができるかを考えたり、様々な意見や考え方があることを知ったりする経験にもなります。

### 準備するもの

- ・模造紙
- ・町の概略図や地図

子どもたちが、町の想像図を書く時に参考にできるもので、駅や商店街、住宅街、大通り、川、公園などの様な情景が含まれている範囲が理想です。

- ・カラーマジック、クレヨンなど

### すすめかた

1. 各班で、お年寄りに、昔の町の様子を聞く。
2. 各班で、それぞれの活動から得たことをまとめて整理する。
3. どのような町にしたいか、班としての意見をまとめる。

### 〔前提条件〕

未来都市ではなく、現在の状況や技術での町づくりを前提とする。

4. 模造紙に、イラストやまんがでつくりたい町の想像図を描く。

### 〔手法〕

- ・町概略図や地図を参考に、大通りや主要な建築物を描いたおおまかな町の概略図を描かせる。
  - ・自分たちの考えた町の中で、今の町と違う部分に、その違いの説明を書く。
  - ・その町をつくるために、自分たちが何ができるのかを考える。
5. 各班ごとに、自分たちの考えた町の発表をする。